

2020年度 環境経営レポート (環境白書)

(対象期間 2020年2月1日～ 2021年1月31日)



エコアクション21
認証番号0009773

東阪電子機器株式会社

温故創新



作成日： 2021年3月20日

更新日：

目 次

項 目	ページ
あいさつ	2
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	5
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	9
緊急事態対応訓練	9
代表者による全体の評価と見直し・指示	10



□ごあいさつ

弊社は海外でのオリジナル製品、OEM、EMS生産システムの構築を目指して1995年香港、1997年中国に進出し、生産体制、部材調達体制を確立してまいりました。その結果コストパフォーマンスに優れた製品供給が可能となりました。この海外生産システムをはじめ、弊社のソフト、ハード、メカニカルの三位一体総合技術を活用頂き、お客様と密に連携させて頂く事で、大企業と同等の効果を発揮でき収益向上のお役に立てるものと確信しております。また、品質や環境面でもISO-9001やエコアクション21を取得する事により経営方針である

『世の中の潜在ニーズを探し形にし続ける』
『新しい事にチャレンジし続ける』
『多様性を尊重し、前例に縛られず前に進み続ける』

を確たるものにし、地球環境の社会的使命を自覚し、本業である電子機器の製造販売を通じて、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

環境経営方針

<環境経営理念>

温故創新

(我々は温故知新を一步踏み込み、俯瞰的、複合的視点から新しい製品・サービス創造する事を理念とし、お客様に幸せと驚きを届け続ける事に努力し邁進します)

<環境保全への行動指針>

1. 当社は、環境関連法規制や当社が定めた環境管理システムを遵守・改善します。
2. 二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ・ 電力(工場、事務所)の削減。
 - ・ 自動車燃料(営業車)の削減。
 - ・ 大阪事業所の照明LED化による電力削減及びデマンド監視装置導入により電力消費及びピークカットにより契約基本料金ダウンとCO2削減に貢献します。
 - ・ 営業車のエコドライブ宣言とエコカー導入によりCO2削減に貢献します。
 - ・ 外部配送依頼の効率化
3. 廃棄物の削減及び再生利用の促進に努めます。
 - ・ 一般廃棄物(ダンボール等)の削減。
 - ・ 産業廃棄物(廃プラ、廃金属等)の削減。
4. 水使用量の削減に努めます。
 - ・ 一般水道水の削減。
5. グリーン調達を推進します。
 - ・ 顧客の要請により有害物質情報の収集に努めます。
 - ・ 環境に配慮した事務用品や生産副資材を調達します。
6. 製品及びサービスの環境配慮に取り組みます。
 - ・ 顧客の要請によりRoHS及び又はREACH対応に取り組みます。
 - ・ 自社新製品のRoHS対応に取り組みます。
 - ・ 省エネに配慮した製品の設計・開発に取組みます。
 - ・ EMC対応商品の開発に取り組みます。
7. 事業継承に努めます。
 - ・ 2019年11月22日付けで中小企業庁の事業継続力計画による認定を頂きました。

制定日：2013年2月1日

改定日：2020年3月20日

代表取締役社長 永野 敏廣

更新日：2020年3月20日

□組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
東阪電子機器株式会社
代表取締役社長 永野 敏廣
- (2) 所在地
本 社 東京都渋谷区恵比寿 1-3-1
大阪事業所 大阪府吹田市江の木町 29-1
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 品質保証部 中島 淳泰 TEL：06-6337-7100
担当者 管理本部(大阪Gr) 首藤 あすか TEL：06-6337-7102
- (4) 事業内容
電子機器の製造・販売
主要製品：産業用電子機器（多種目）、モータ駆動制御装置、医療機器
- (5) 事業の規模
売上高 14.5 億円
- | | 本 社 | 大阪事業所 | | | 合計 |
|-------|----------------------------------|--------------------|----------------|----------------|--------------------|
| 従業員 | 名 8名 | 28名 | 名 | 名 | 36名 |
| 延べ床面積 | m ² 140m ² | 1156m ² | m ² | m ² | 1296m ² |
- (6) 事業年度 2月1日～1月31日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 東阪電子機器株式会社
対象事業所： 本 社
大阪事業所

対象外： なし
活動： 電子機器の製造・販売

□事業や製品（商品）の紹介



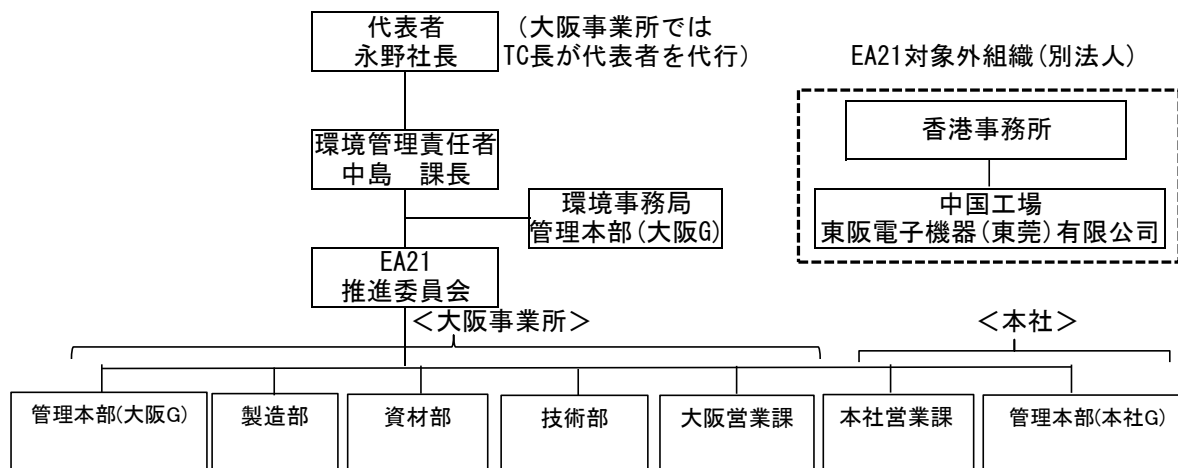
弊社中国(東莞)工場



小型（環境配慮）ドライバー
<3>

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2021年3月20日



	役割・責任・権限
代表者（社長） 但し大阪事業所では、 大番TC長が代表者を 代行する。	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認及び地域事務局への送付
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境関連法規等取りまとめ表／遵守評価記録の作成 環境活動の実施集計 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
EA21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営計画の審議（環境への負荷の自己チェック、環境への取組の自己チェックの実施及び環境目標・環境活動計画原案の作成を含む） 環境活動実績の推進 環境活動実績の評価と次年度への展開
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門の従業員への環境方針・環境活動状況等の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加



37期(2020年)キックオフ大会での全社員集合
〈4〉

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年	2019年	2020年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	62,425	62,724	51,728
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	Kg	4952	4325	4,173
産業廃棄物排出量	Kg	0	0	6,390
総排水量	m ³	515	388	353

※二酸化炭素排出係数 0.514 kg-CO₂/kWh 本社：2016年東京電力会社の調整後の係数
 0.355 kg-CO₂/kWh 大阪：2016年リコージャパンの調整後の係数

□環境経営目標及びその実績

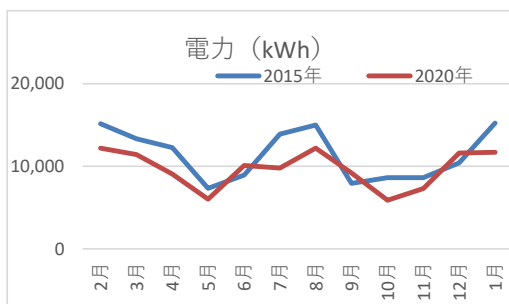
項目	年度	基準値 (基準年)	2020年		評価	2021年 (目標)	2022年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減(全社)	kg-CO ₂	69,108	48,376	43,526	○	47,685	46,994
	基準年度比	2015年	70%	62%		69%	68%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	18,482	10,165	8,202	○	10,350	10,165
	基準年度比	2014年	55%	44%		56%	55%
上記二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	87,590	58,541	51,728		58,035	57,159
一般廃棄物の削減(全社)	kg	4,325	4,585	4,173	○	4,585	4,541
	基準年度比	2014年	106%	96%		106%	105%
産業廃棄物の削減(大阪のみ)	kg	5,580	4,464	6,390	×	3,906	3,906
	基準年度比	2014年	0.8	1.145161		0.7	0.7
水道水の削減(大阪のみ)	m ³	388	376	353	○	372	369
	基準年度比	2014年	97%	91%		96%	95%
グリーン購入の推進(オフィス用品G購入率)	% (金額)	—	55%	33%	×	60%	65%
製品への環境配慮(RoHS適合品)	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減(全社)	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	・コロナの影響による残業削減等もあって、前年比で電力消費量は約2割弱減少している ・空調の温度も適正に保っている ・使用していない場所の照明OFFも継続実施している
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	△	
・クールビズ/ウォームビズの推進	○	
・ノー残業デーの実施	○	
・生産設備・治工具の待機時間短縮	○	
・不要照明の消灯/昼休み時間の消灯	○	

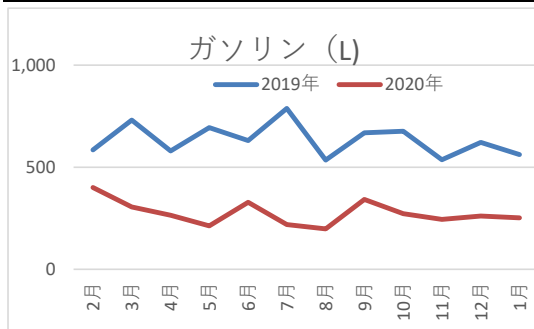


次年度の取組内容

弊社は電力消費の大半はエアコン及び照明にであるため気候に大きく左右されるが、仕事効率UPの取組をより一層の電力使用削減に取り組みます。

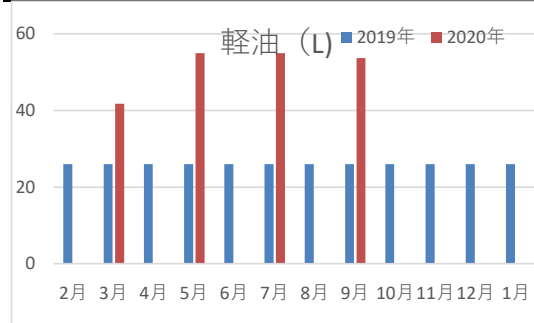
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2015年	15,148	13,328	12,255	7,329	8,934	13,911	14,987	7,924	8,630	8,630	10,429	15,240
2020年	12,200	11,410	9,079	6,015	10,101	9,774	12,192	9,177	5,888	7,298	11,612	11,710

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	・コロナの影響による営業訪問機会及び配達の減少によりガソリン 軽油の消費量も減少 ・CO2削減意識をもった運転も継続。 ・タイヤ空気圧点検については漏れはなく、引き続き朝礼等で徹底する
・効率的な社用車運行営業活動	○	
・タイヤ空気圧の始業前点検の実施	△	
・エコドライブ運転の宣言・徹底	○	



次年度の取組内容
 エコカー（ハイブリッドカー）の導入によりガソリンの使用量は減少していますが、効率の良い運用及び空気圧点検を引き続き実施します。

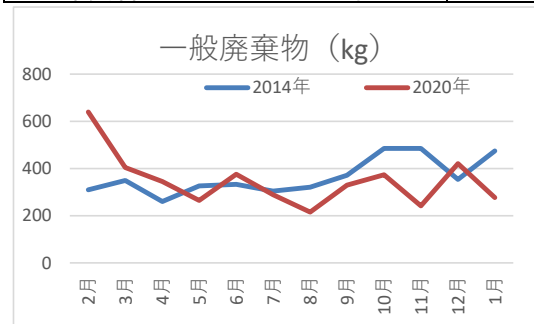
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	585	731	580	694	630	788	535	669	676	536	622	562
2020年	401	305	265	212	328	219	198	343	273	244	262	252



次年度の取組内容
 ハイエース（軽油）の使用頻度は少ない様なので基準年(2019年)との比較は出来ませんが効率の良い運用に努めます。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2019年	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
2020年	0	42	0	55	0	55	0	54	0	0	0	0

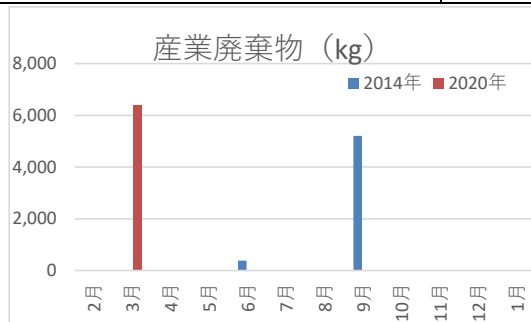
一般廃棄物の削減（全社）	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	昨年比では減少していますが、中国向け発送増の為に再梱包による（ダンボール）廃棄増です。
・分別の徹底	○	
・裏紙／両面・集約印刷の励行	△	
・整理屋と雲清掃（5S）の推進	△	
・配布資料のペーパーレス化／省コ	○	



次年度の取組内容
 弊社の業務内容的に仕事量に比例するので一概に削減することは難しいですが、分別の徹底及びIT化の促進によるペーパーレスに取り組みます。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2014年	310	349	260	326	333	304	321	371	485	485	354	474
2020年	639	404	345	264	376	289	215	329	373	242	421	276

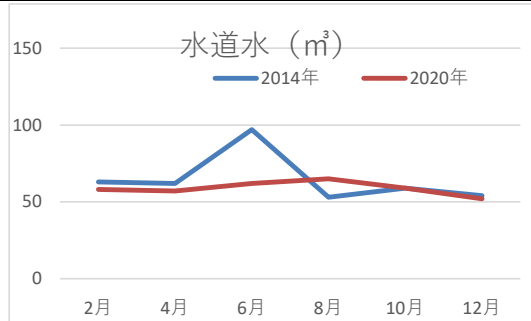
産業廃棄物の削減（大阪のみ）	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	毎年では少量の発生為3年ぶりに産業廃棄を行った量なので、年間当たり1/3の2130kgとすれば減少していると思われます。
・生産工程での歩留まり向上／ロス	○	
・工程内不具合／顧客クレームの低	○	
・設計ミスによる廃棄の低減	○	



次年度の取組内容
 生産工程での歩留まり向上／ロスの低減を推進し廃棄ロスを減らします。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2014年	0	0	0	0	380	0	0	5,200	0	0	0	0
2020年	0	6,390	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水道水の削減（大阪のみ）	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	○	残業減もあり使用量は減少しています。
・節水を心掛ける、出しっぱなしは	○	
・節水シールの貼り付	○	
・社用車の洗車の効率化	○	



次年度の取組内容
 業務での水使用はほぼ無いですが、節水には一層心がけます。

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
2014年	63	0	62	0	97	0	53	0	59	0	54	0
2020年	58	0	57	0	62	0	65	0	59	0	52	0

グリーン購入の推進（全社）	達成状況	取組結果とその評価
数値目標	×	複合機等グリーン対象品以外のPC等の購入品についてはコスト等を考慮し購入時に検討します。
・燃費のよい自動車の採用	○	
・事務用品グリーン購入比率向上	△	
・有害性の少ない資材の購入	△	
・省エネ性能の高い電気製品の購入	○	

次年度の取組内容

現状通りの購入コストを考慮し購入時に検討し導入を進めていきます。

製品への環境配慮（RoHS適合品）	達成状況	取組結果とその評価
・数値目標	×	目標台数75,356台に対して出荷台数は59,642台と未達ですが、要因は大口顧客の減少及びコロナの影響による出荷台数が減少した為です。
・省資源設計（小型化など）	○	
・非有害物質資材・部品の採用	○	
・省エネ設計（低消費電力）	△	
・		



【新製品ePI-09】
（この写真のセットで12軸）

←4軸モーションコントロール基板

←4軸モーションコントロール基板

←4軸モーションコントロール基板

←Raspberry Pi一番下

次年度の取組内容


環境に配慮（RoHS対応・省エネ）した自社商品開発を引き続き行います。

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、金属）、水銀廃棄物の適正処理
容器包装リサイクル法	容器包装
騒音規制法	空気圧縮機、送風機
振動規制法	空気圧縮機
消防法（危険物）	危険物の保管
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
RoHS指令	購入部品・部材

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定：地震の発生	
■実施日：2020年10月27日	■実施場所：大阪事業所
■参加者：当日出社の全員	■実施内容： ・避難訓練
■評価： 非常口1Fの南京錠の鍵を2F 3Fに出口に掛けてあるが、2Fがわかりにくいのでドアノブの下に移動した。（図1） 最後に各フロア-を出るもの（全員避難を確認）、非常口から避難する者を来年までに決める。	手順書変更要否 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子	
	

緊急事態の想定：地震の発生	
■実施日：2020年10月27日	■実施場所：東京本社ビル
■参加者：ビル・テナント全員 弊社は電話番号を除き当日出社全員	■実施内容： ・避難訓練
■評価： 訓練主催のビル管理会社の指示にて、日常使用しない建物外階段からの避難。ヘルメットを被り忘れたが、非常事態のためそのまま避難。非常階段には障害物もなく非難しやすかった。	手順書変更要否 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
■実施状況の様子 防火扉付近にも障害物は無く、消火器も適切に配置されていた。管理会社が日常的に管理していることが窺えた分、自衛意識が薄くなりがちになっていると感じた。非常階段、防火扉、消火器の必要性と重要性を再認識することができ、定期的な訓練参加の必要性と重要性を改めて感じた。	

<p>【前回の指示への取組結果】</p> <p>前回代表者からの、環境活動に対する指示はありませんでした。</p>	
<p>＜情 報＞</p> <p>◇自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等） 新型コロナの影響を受け売上は目標未達だったが、作業効率化等の取り組みもあり利益は確保出来た。</p> <p>◇環境目標・活動計画の達成状況 エコカー導入、新電力移行でCO2の削減効果は出ており、さらに製造工程の効率化による時短にさらに取り組みます。</p> <p>◇その他 ・利害関係者からの苦情・要請等 ・環境上の問題点等 特にありませんでした</p>	<p>＜見直し・指示＞</p> <p>◇環境方針 変更ありません。</p> <p>◇環境経営目標・環境経営計画 特に変更は有りません。</p> <p>◇その他 特にありません。</p>
<p>【今回の評価結果と今後の経営視点】</p> <p>全社として環境に関する意識は出来ており、習慣化レベルまで来ている事は評価出来る。今後はより省エネや環境に貢献できるモノづくりを行い、社会に貢献していきたいと考えている。</p>	

凡事徹底